

討 論

●請願第28—4号
東海村広域避難計画の策定にあたり、「現実的な避難訓練の実施」と「計画の検証機関」を、茨城県及び東海村に求める意見書採択」を早急に求める請願

建設農政委員会報告

↓不採択とすべきもの

反対
豊創会
阿部 功志 議員

避難計画の最終判断を行政の委員がするのはエック機能が公正でなく、村民のための計画という視点も欠けている。第三者委員会設置の要求は合理性がある。行政がやるから議会から言いつつ必要なことは乱暴で無理解だ。

反対
無会派
大名美恵子 議員

「計画策定前の避難訓練実施を」「実効性の検証機関が必要」との請願は、あまりに当然。これらについて議会が住民の声を代弁し執行部に意見しても何ら問題はない。

反対
光風会
恵利 いつ 議員

請願者は、避難受け入れ先自治体議員と意見交換を行うなど、多くの時間と労力を割いた中で広域避難訓練の必要性を訴えている。原発再稼働が進められる現状において、実効性の高い避難計画でなければならぬと考える。

反対
無会派
清宮 寿子 議員

村民のいのちと暮らしを守るために、現実性と実効性が適切であることの検証は必要不可欠である。避難訓練を実施し、その上で計画を策定し、計画の実効性を検証するための第三者機関の設置を求める当請願は当然の要求である。

●議案第69号
平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

反対
無会派
大名美恵子 議員

公的医療保険を破壊する2018年度からの国保事業県一本化に向け、村が県に提供するデータ抽出のためのシステム変更予算には反対。

●認定第1号
平成27年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について

反対
無会派
大名美恵子 議員

最大の問題は、第4次行革を大胆にすすめるとして、いくつかの行政サービスを打ち切り、多大な住民負担増を強いたことである。

●認定第2号
平成27年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対
無会派
大名美恵子 議員

対象レセプトの拡大は広域的な財政運営に近づける。市町村国保運営の安定的基盤整備は、国費を十分支出し国の責任でこそ行つべきである。

●認定第4号
平成27年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対
無会派
大名美恵子 議員

事業改悪と同時に保険料が引き上げられたことは、利用しやすい制度とは言えない。さらなる基金の活用で保険料は据え置くべき。